

令和3年度 第1回 校内研究会【4年】 事後研究会 議事録(6/24)

1. 挨拶 学校長より【略】

2. 授業者より

- ・研究目標を意識するため、課題・めあてを工夫した。今回は「比べよう」とすることで、課題発見を意識した。ペアトークのあとの全体交流では、福祉について学んできたことを構造化することを意識した。「思いやり」についてももう少し意見を拾いたかった。
- ・総合的な学習の時間の目標である「自己の生き方を考えていくための資質・能力」を育てるために学習のあしあと（板書やワークシート、思考ツールカード、振り返り）をロイロノートで整理していき、それらを活用した「変化カード」で交流することは大変有効であったと考えるが、各課題ごとに「はじめ」の思いを残してから振り返ると、より目標達成に迫れると実感した。どの教科でも「はじめ」「今」「理由」をセットで振り返るようにしていきたい。
- ・ICT教育は今後、子どもにたちに必要不可欠な基礎基本の力となる。積極的に活用していきたい。

3. 研究協議

裏面参照

4. 指導講評【学校長】

- ・総合的な時間の基本的な考えとして、①学習対象を設定。②学習対象に対し、どのような概念の形成を期待するのかを明示する。③この概念形成をするために、探求のプロセスを5回サイクルにする単元を構成する。④他教科等で身に付けた資質・能力との関連、カリキュラムマネジメントの視点をもつこと。が大切である。
- ・学校で設定した探求課題を解決するためには、学習のプロセスを探究する必要がある。「課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現」の探究のプロセスが発展的に繰り返されていく一連の学習活動を組むことが大事になる。その鍵は、課題設定にある。学習が進むにつれ、課題が高まり、考えがよりよいものになっていく学習を考える。単元のねらいを大きく二つと考え、単元の前半を「考えをつくる」、後半を「考えを練り上げる」とする。このこと基に、次のように単元を構想していくことが大切である。

5. 学校長より【略】

良かった点

改善点

側面掲示

子どもたちがロイロを使いこなしていた

交流の仕方をスライド形式で提示していた。
→子どもたちが何をすればよいかわかり活動できた点

これまでの学習をロイロに一つ括してまとめたこと
→「ごちゃごちゃしないスマート、スムーズ」

GIGA端末を使った説明の時に、キーワードで説明をさせたのがよかった。談話だけでなくその時の状況に応じた対話が進められた。

めあて・課題 前時まで

固いの必然性
どうして比べるのか
全体での交流、深め方

はじめ～いま
にいたった説明は…
①知ったこと
②そこから考えたこと・これからの展望
③で止まる子、④までいった子。

めあてがもう少し具体的なほうがよかった。
○「学習の振り返り」に重点を置く→「友達と自分の考えの変化を比べて、今までの学習を振り返ろう」
○「今後の自分の行動」に重点を置く→「友達と自分の考えの変化を比べ、これから自分にできることを考えよう」

バラリンピックやライオンはウスのことなどたくさんあった。一つの項目でやった方がわかりやすかった。

ジャンルごとに振り回り

ペアトーク

「どうでしょう」という問いかけ
→考えようという気持ちが強くなる
→相手の立場になって考えられる

コミュニケーション力
交流の際に「自分と同じ
や」という発言がよく聞
れたこと。

ロイノートの活用。自
分のスライドを見せなが
ら交流できていた。

相手の話を「○○ってことやん
な」と、かみ砕いたり確認しな
がら交流していたのがよかった。

ペアでの交流→全体の交流。1回は発表できるし、ペア以外の内容も知ることができる。

GIGAはツール
基本的な、担任や友達の話聞くという姿勢が身に付いていて、集団としてよかった。

子どもたちが
発表する人のほうに
顔と体を向けていた
→板書がわかりやすく
子どもたちの気持ち
がどう変化したのか
視覚的に理解しやすかった

発表した人も振り返り記入
Aさんの発言
板書を通して思考を深める
まとめの中で出てきた意見を
①思いやり②知ること③これ
からで見やすく分けられた。

質問・提案
質問
問いがどのようなし
て出てきたのか。
提案
問いの必然性

・どうでしょう？何をこたえるのが難しかったの
ではないか？
・答えの部分、特に一番心に残った部分の感動や
驚きなどをもっと伝えられたのではないか？

「どうしてでしょうか。」
それぞれが使っている資料が違うので、答えるこ
とが難しかった。

全体交流 板書

ワークシートのメモ
交流の中で何を深める
のがわかりにくかった
→めあてとの関連

もう少しこれらのこ
とを考える時間をとれ
てもよかったのでは
ないか？
知る
→
思える
→
思いやり・行動

1. 学んだことから「自分も頑張
りたい」というのは、出てき
やすかったですが、障害をもつ
人に対して、これからどうした
いかに引き出すには、どうす
ればいいのか…と思います。

考えて発表とどう違う
のか。わざわざロイロ
にしているのか分から
なかった。(いろんな
頭を使うのでアナログ
人間にはややこしい)

質問
問いがどのようなし
て出てきたのか。
提案
問いの必然性